



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

### (株) リッカー

次ページの資金移動表は、(株) リッカーの1977年3月期～1982年3月期のものである(出所: 日経NEEDS)。

(株) リッカーは国内ミシン業界のトップメーカーであったが、1984年7月に会社ぐるみの粉飾決算が明るみに出て、倒産した。当時の新聞によれば、倒産の背景として次のような要因が指摘されていた。

- (1)国内のミシン需要が頭打ちになったにもかかわらず、マーケティング戦略を変更することなく、既存製品の売上至上主義に固執した。
- (2)マイコン搭載のミシンが主流になる中で、技術革新に遅れ、旧モデルに依存したため競争力が低下した。

資金移動表から、(株) リッカーが倒産に至った要因を分析推論し、説明してください。

(注)資金移動表の中の数値は、プラス数値は資金支出または資金減少を、マイナス数値は資金流入または資金増加を、それぞれ表している。

---

このケースは、慶應義塾大学ビジネススクール助教授・山根節がクラス討議の資料として作成した。

(1997年4月)